

もいのにぎわい通信

2023年9月24日 定例活動報告

日時：2023年9月24日（日）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：曇りのち晴 気温 22～27℃ 湿度 67% 風向 北東 風速 3.0m/s

参加者：20人：子ども5人、大人15人（内土地改良区0人）

■活動

9：00 集合

9：30 作業開始

10：30 休憩

作業再開

12：00 片付け・解散

■活動報告

雨天順延で日曜日の定例会。土日を森のボランティアに充てる方は、そういないのではと思っていましたが、嬉しいことに20名の参加がありました。

9月に入り森へは草刈りを兼ねて二度ほど足を運びました。青々と茂った草に覆われると毎年ながら気が重くなっていましたが、9時を過ぎた頃から皆さんの車が次々に到着。萱野さんをお願いしていた刈払機6台もようやく到着しました。

早速、クリ拾いと刈払機による除草作業に分かれて作業開始。以前、環境コンサルタントの方からクリを収穫した後、イガグリをそのまま放置すると虫が越冬するため、収穫の時に燃やしてしまうのが理想だとアドバイスをいただきました。今回は、集めたイガグリを一輪車で焼却場所まで運びました。今年のクリは、8月の雨不足と9月の猛暑に加えイノシシの食害もあり収穫量は最盛期の10分の1程度でした。クリエリア一帯は、夜な夜な出没するイノシシが食べた残骸ばかりで、落ちているクリは殆どなくながっかりです。そんな時、小倉さんが木についているイガグリを目掛け竹竿で一振りするとクリがポトポトポトと落ちてきたそうです。経験に勝るものなしですね。大学生の大塚さんも竹竿でイガグリを叩いて落としてくれました。下から見上げれば、まだ青々としたイガグリばかりで今日のところはここまでとしました。

休憩を挟んで後半は、もっか勢力拡大中のアレチヌスビトハギの抑え込み除去を行いました。

この時期、アレチヌスビトハギには困ったものでズボンや軍手などにベッタリとくっ付いてきます。また、繁殖力もあっていつの間にか堆肥場の裏まで広がっていたのには驚きました。自宅の庭や畑には絶対に持ち帰りたく厄介者です。「美味しい豆として食べられたらいいのにね」と、どなたか言っていました。笑いを力にしてみんなでキウイ棚の手前から奥にかけてアレチヌスビトハギと刈り取った草を一緒に一輪車で焼却場所へと運びました。切のいい所まで作業を続けたお陰で見通しも良くなりきれいになりました。

入口からの進入路や散策路もきれいに草刈りを進めて頂いて、うっそうとした森の景色が変わり

ました。こうして、里山は人が手入れをしないと守れない場所を痛感します。今日ご参加の皆様本当にお疲れさまでございました。そして、ご参加下さって有難うございました。

(記録:星野静枝)

.....
お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、10月28日(土)(雨天の場合10月29日(日))除草作業、枝の剪定、井戸掘り作業などを行う予定です。コロナ禍の為、活動時間は午前9時~12時までとします。

興味のある方は奮って参加下さい。



集合写真



広場の草刈作業



クリ拾いに出発



クリ拾い





草刈作業



秘密基地作り？



休憩





刈った草を焼却場へ搬入



鎌での草刈作業



草刈完了



見通しが良くなりました。





カキも順調に生育